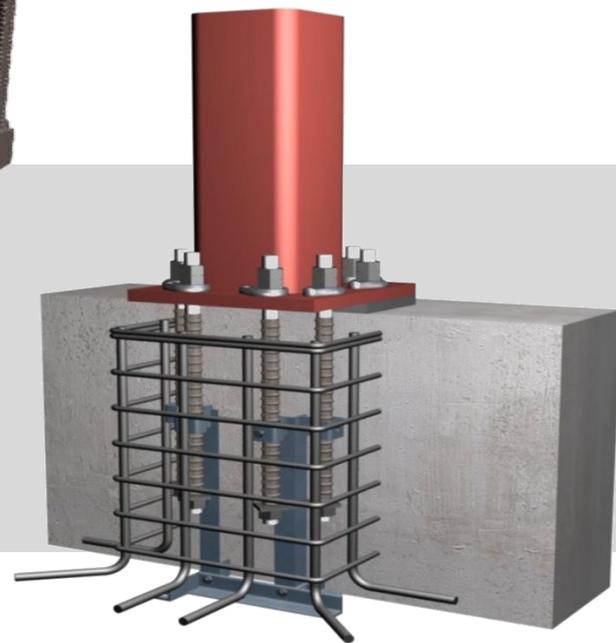


# 2016年12月期 決算説明会



クラウンパイルアンカー



ベースパックVシリーズ



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

# 岡部グループの事業領域

## その他事業

主に、漁礁の製造販売をしています。

## ホテル事業

2016年9月6日付けにて譲渡を完了しております。

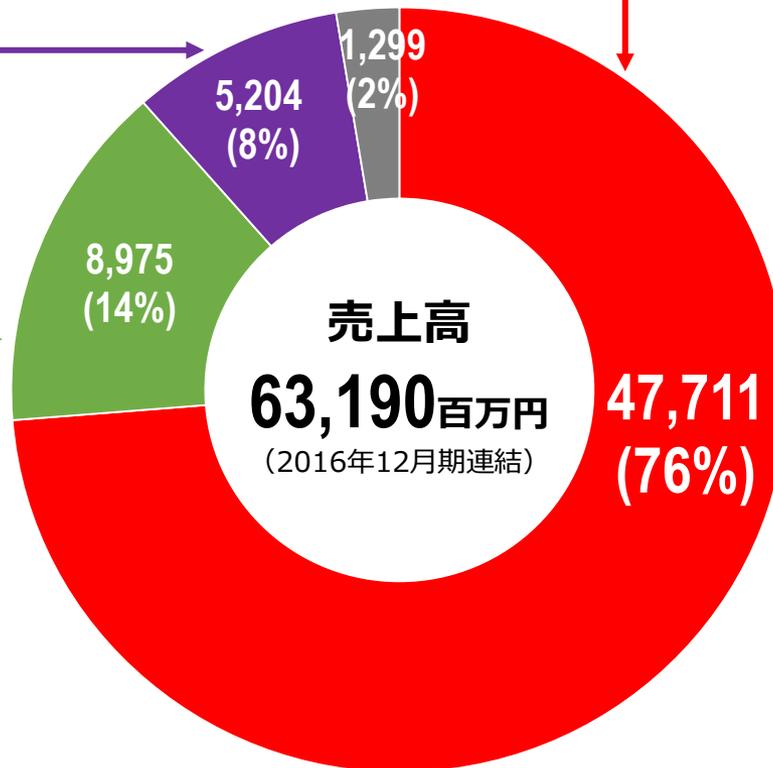
## 自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売・トラック等向けボルト・ナットの販売を行っております。



## 建設関連製品事業

- 仮設・型枠製品
  - 土木製品
  - 構造機材製品
  - 建材商品（北米含む）
- より構成されております。



# 国内・海外売上比率

## 海外事業

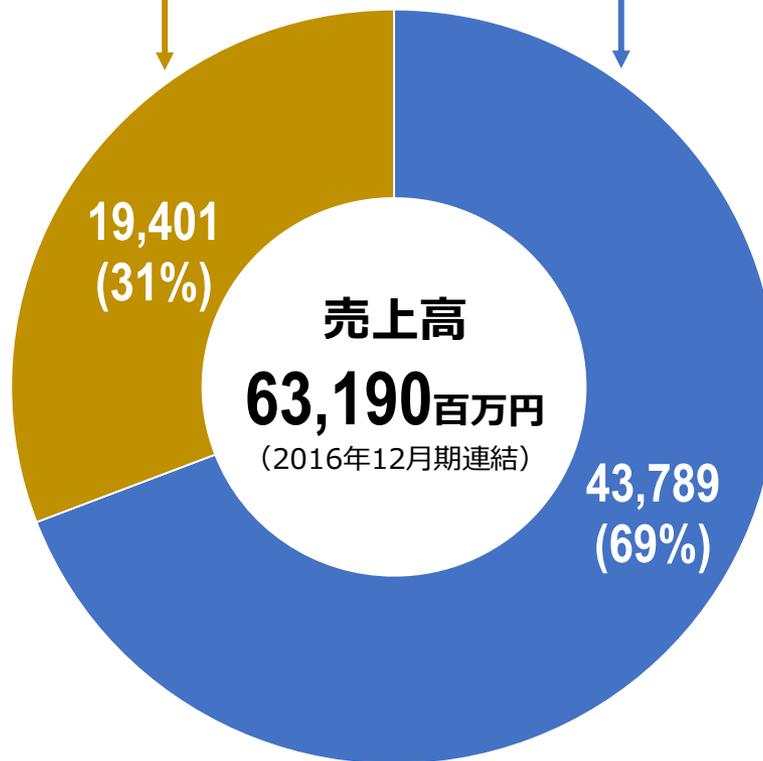
- 建材商品販売
- 自動車関連製品事業
- ホテル事業

から構成されております。



## 国内事業

- 建設関連製品事業等から構成されております。



※ホテル事業は譲渡を完了しております。

# 本日のアジェンダ

---

**I. 2016年12月期 連結業績概要**

**II. 前中期経営計画 進捗・成果について**

**III. 新・中期経営計画について**

# I . 2016年12月期 連結業績概要

# 2016年連結業績状況サマリー

プラス要因

## 建設関連製品事業 (北米)

- OCM社の販売が引き続き伸張

## 自動車関連製品事業 (欧州)

- 欧州における販売が好調

マイナス要因

## 建設関連製品事業 (国内)

- 工事着工の進捗に遅れ

## 自動車関連製品事業 (北米)

- 北米が暖冬だったことによる、バッテリー端子の需要低下

# 連結業績概況 【前期比】

(単位：百万円)

	2015 実績	2016 実績	増減額	増減率
売上高	68,985	63,190	△5,795	△8.4%
営業利益	6,327	5,527	△800	△12.6%
(営業利益率)	9.2%	8.7%	—	—
経常利益	6,539	5,780	△758	△11.6%
当期純利益	4,234	7,861	3,627	85.7%

## Ⅱ. 前中期経営計画 進捗・成果について

# 前中期経営計画の振り返り

## <Ⅰ> ミライを支える「新工場」

コア・準コア事業において、3つの新工場がしっかり成長を支えます。

## <Ⅱ> ミライに羽ばたく「新製品」

コア・準コア事業において、成長分野に新製品を投入し、市場シェアを拡大します。

## <Ⅲ> ミライを創る「新分野」

これまで蓄積した技術・ノウハウを活かすことができる新分野へと果敢に挑戦します。

# 前中期経営計画の振り返り（業績面）

## ・事業環境の変化

### 建設関連製品事業

- 国内の建設着工が想定以上に進まず足踏み。

### 自動車関連製品事業

- 自動車関連製品分野において、中国経済の減速などにより、中国工場の本格稼動には至らず。



- 経常利益100億円という目標は持ち越し。
- 北米における建材分野（OCM社）は成長。

# 前中期経営計画の振り返り（施策・投資面）

## ・実施した主な施策・投資

### 建設関連製品事業

### 自動車関連製品事業

- 新製品の開発（ベースパックVシリーズ等）
- 国内外の生産・物流・開発拠点等の拡充  
（国内：茨城工場竣工、総合実験センターの建設に着手）  
（北米：物流倉庫の建設に着手）  
（欧州：バッテリー端子の製造ライン拡充）

### その他実施事項

- 新分野への挑戦（海洋事業関係）
- ホテル事業の売却（コア事業への集中）

## Ⅲ. 新・中期経営計画について

岡部の新たなチャレンジが始まります

中期経営計画 2017-2019

**NEXT100**

~Exciting Future~

2017年2月14日



中期経営計画 2017-2019

# NEXT100

~Exciting Future~

STRATEGY

## 3つの柱

コア事業への  
経営資源の集中

新製品開発強化

グローバル展開推進



建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

VALUE & STRUCTURE

## Strengthen

経営基盤の強化

VISION

## Global Maker

安全と安心の提供を通じて  
社会に貢献するグローバル・メーカー

技術力

× ワクワク

### 経営基盤 ~4つの強化策

- 1 創業期以来の社是の再確認
- 2 多様な人材獲得・育成(人材のグローバル化とダイバーシティ)
- 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化
- 4 ガバナンス強化

# NEXT100 長期ビジョン（将来像）

VISION

3つの柱の基礎となる  
経営基盤の強化

ビジョン実現のための  
3つの柱

ビジョン  
（将来像）

- 「安全と安心の提供を通じて社会に貢献する」という経営理念を世界で実践するグローバル・メーカー
- 技術力を背景に展開
  - 建設資材分野 ▶▶▶ 仮設・型枠製品、構造機材製品、土木製品を中心として、特に、構造機材製品の耐震制震免震関連に注力
  - 自動車部品分野 ▶▶▶ バッテリー端子およびボルトナット類中心
- ワクワクする会社

長期経営目標

- 売上高1,000億円
- 経常利益100億円
- ROE10%

# NEXT100 3つの柱

## STRATEGY

3つの柱の基礎となる  
経営基盤の強化

ビジョン実現のための  
3つの柱

ビジョン  
(将来像)

### 1 コア事業への経営資源の集中

コア事業（建設関連製品・自動車関連製品）へ経営資源を集中します。  
M&Aはこの領域で実現を図ります。

### 2 新製品開発強化

建設資材・自動車部品（バッテリー端子等）・海洋の各事業において成長領域の製品開発に取り組みます。  
将来的に売上高50億円を新たに生み出す製品を、この3年間で市場投入してまいります。

### 3 グローバル展開推進

建設資材・自動車部品・海洋の各事業において海外展開をさらに積極的に推進します。  
経常利益の海外比率40%を目指してまいります。

# NEXT100 経営基盤強化

## STRUCTURE

3つの柱の基礎となる  
経営基盤の強化

ビジョン実現のための  
3つの柱

ビジョン  
(将来像)

### 1 創業期以来の社是の再確認

### 2 多様な人材獲得・育成（人材のグローバル化とダイバーシティ）

将来の経営者人材、海外人材（外国人含む）、女性活用、技術系人材獲得、高年齢者活用、国内外人材交流など

### 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化

### 4 ガバナンス強化

- ・監査等委員会設置会社への移行に伴うガバナンス強化
- ・社員向け株式報酬の導入による中長期的企業価値の意識向上

# NEXT100 事業別の戦略 1/4

建設関連製品【国内】

建設関連製品【海外】

自動車関連製品

多角化事業

## 想定する事業環境

需要  
動向

- 【首都圏・大都市圏】

主 な  
大型需要

- ・オリンピック・パラリンピック関連
- ・リニア関連・物流整備（国交省）
- ・3大都市圏再開発 ・インフラ再整備

- 【全国】 総じて停滞傾向での推移を想定

市場  
動向

- 建物の安全性・安心感に対するニーズ持続
- 人手不足等の構造的問題の継続（建設現場の作業員高齢化など）
- IT技術革新による建設ビジネスモデルの変化（IoT、i-Constructionなど）

## 主な戦略・施策

### ● 中長期需要の取込み

### ● 市場シェアの拡大

- ・製品分野別のラインアップ拡充と製品開発強化 →
- ・きめ細かな製品別戦略の展開

### ● 未来型営業スタイルの確立

- ・営業部門におけるIT化促進による顧客サービス向上と業務効率化

### ● 生産拠点の整備・拡充

#### 中長期的に強化を図る主な製品分野

##### ① 構造関連製品

- ⇒ 柱脚事業を中心とした耐震関連製品と制振・免震分野
- ⇒ 「岡部総合実験センター」新設（2018年）による開発力強化

##### ② 木造関連製品

- ⇒ 構造関連製品のノウハウを木造分野へ応用

##### ③ 土木関連製品

- ⇒ 省力化対応製品リニューアル

##### ④ 仮設型枠製品

- ⇒ 現場作業効率性向上に資する製品

##### ⑤ IoT活用の検討

# NEXT100 事業別の戦略 2/4

建設関連製品【国内】

建設関連製品【海外】

自動車関連製品

多角化事業

## 想定する事業環境

需要動向

米 国

積極的なインフラ整備も期待されるなど、建設需要は堅調に推移することを想定

東南アジア・南アジア

人口増に加えてインフラ整備の遅れなどが顕著であり、建設需要は伸びていくことを想定

## 主な戦略・施策

- 当社の経営理念「安全・安心」を世界で実践する
- 海外建設資材で売上高100億円を目指す

米 国

市場成長予測を背景に、メーカー機能を付加しさらなる成長をはかる

中国・東南アジア・南アジア

中国を足がかりとして、成長可能性のある東南アジア等での展開

# NEXT100 事業別の戦略 3/4

建設関連製品【国内】

建設関連製品【海外】

自動車関連製品

多角化事業

## 当社グループの事業展開状況と想定する事業環境

### 事業展開 の状況

#### 【バッテリー端子製品】

- 自動車・産業機械等に搭載される多様なバッテリーボックスに使用されている
- 多様な市場をターゲットとしたグローバル製品として、世界30カ国以上に利用が拡大

#### 【自動車向けボルト・ナット類】

- 北米にてトラック・トレーラー向けのツーピースナット等を販売

### 事業 環境

- 自動車販売台数拡大の見込み  
2016年75百万台  
⇒ 2020年までに1億台へ
- 地域的にはアジアで特に堅調に推移する見込み
- 今後もサステナビリティに配慮した生産技術が  
厳しく求められる

## 主な戦略・施策

### WG社

## 世界一のバッテリー端子メーカーへ ～売上高100億円を目指す～

- ・グローバル・バッテリーメーカーとの関係強化
- ・欧州におけるシェアアップ
- ・中国工場の軌道化（2020年黒字化目指す）
- ・顧客との次世代タイプの開発強化
- ・サステナビリティに配慮した生産技術力の向上
- ・生産設備の増強・更新

### オカベCo., Inc.社

## 長年のブランドを生かした 事業再構築へ

ツーピースナットの老舗として  
北米で確立した岡部ブランド

安全と安心に貢献し続けた  
実績

事業の再構築

# NEXT100 事業別の戦略 4/4

建設関連製品【国内】

建設関連製品【海外】

自動車関連製品

多角化事業

## 当事業の位置づけと今後の方針

当事業の  
位置づけ

- 2017年度より、当セグメントの名称を変更

(～2016年度) **その他の事業** → (2017年度～) **多角化事業**

- 当セグメントの主力は従来通り**海洋事業**
  - ・漁礁の製造販売事業
  - ・つり用の錘の製造販売事業
  - ・その派生・関連事業

今後の  
方針

- **コア事業**への集中を基本とする中で…  
⇒ **ノンコア事業**領域においても、  
当社の経営理念や方向性に合致する  
事業については、一定の規律のもと  
事業機会の発掘・創出に取り組む

## 主な戦略・施策

### 海 洋 事 業

国 内

- 漁礁製品のシェアの維持向上と顧客ニーズを捉えた製品開発
- 化粧品事業の軌道化と海藻素材開発のさらなる追求

海 外

- 漁礁需要創出とグローバル展開促進

## 3年間の設備投資計画額

## 170億円

### 【事業別内訳】

#### ● 建設関連製品事業

## 130億円

国内：生産拠点整備、研究開発投資	55億円
米国：物流拠点拡充、新規生産設備等	45億円
共通：IT投資、更新投資等	30億円

#### ● 自動車関連製品事業

## 40億円

生産設備増強・研究開発投資	40億円
---------------	------

国内外において相乗効果のある企業買収



建設関連製品事業領域  
自動車関連製品事業領域

ビジョン実現へ加速

# NEXT100 3カ年 業績目標

## 中期業績目標 (2019年)

▶ 売上高720億円、経常利益70億円を目指す

	前期実績	NEXT100 3カ年業績目標		
	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
売上高 (百万円)	63,190	62,000	67,500	72,000
営業利益 (百万円)	5,527	5,700	6,300	6,900
経常利益 (百万円)	5,780	5,800	6,400	7,000
当期純利益 (百万円)	7,861	3,640	4,000	4,400
ROE (%)	15.7%	7.0%	7.5%	8.1%

# NEXT100 セグメント別 業績目標

【単位：百万円】

	2016年実績	2017年計画	2018年計画	2019年計画
<b>売上高</b>	<b>63,190</b>	<b>62,000</b>	<b>67,500</b>	<b>72,000</b>
■建設関連製品事業	47,711	51,400	55,800	59,200
<国内>				
-仮設・型枠製品	7,093	7,600	8,000	8,300
-土木製品	5,553	5,850	6,300	6,700
-構造機材製品	18,342	20,500	22,800	24,000
-建材商品	12,224	12,950	13,500	14,200
(国内計)	43,214	46,900	50,600	53,200
<海外>				
-建材商品	4,496	4,500	5,200	6,000
(海外計)	4,496	4,500	5,200	6,000
■自動車関連製品事業	8,975	9,000	9,700	10,600
■ホテル事業	5,204	-	-	-
■多角化事業	1,299	1,600	2,000	2,200
<b>営業利益</b>	<b>5,527</b>	<b>5,700</b>	<b>6,300</b>	<b>6,900</b>
■建設関連製品事業	3,940	4,450	4,800	5,300
■自動車関連製品事業	1,021	1,080	1,300	1,350
■ホテル事業	501	-	-	-
■多角化事業	63	170	200	250
<b>経常利益</b>	<b>5,780</b>	<b>5,800</b>	<b>6,400</b>	<b>7,000</b>
経常利益率	9.1%	9.4%	9.5%	9.7%
当期純利益	7,861	3,640	4,000	4,400
ROE	15.7%	7.0%	7.5%	8.1%

# NEXT100 株主還元方針 -配当政策について-

- ・100周年の記念配当を実施(年間6円)

	2014	2015	2016	2017 (予想)
1株当たり 当期純利益	84.52円	81.62円	155.10円	<b>71.8円</b>
1株当たり 配当金額	22.00円	24.00円	24.00円	<b>30.00円</b>
連結配当性向	26.0%	29.4%	15.5%	<b>41.8%</b>

# NEXT100 株主還元方針 -自己株式取得-

## ・自己株式取得の実績(2010年～)

	2010	2011	2015	2016
平均取得単価	334円	389円	1,039円	885円
取得株式数	1,100,000	1,658,700	1,500,000	1,129,700
取得総額 (百万円)	367	645	1,558	999

# 参考資料

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

# セグメント別・製品別売上高 【前期比】

(単位：百万円)

		2015 実績	2016 実績	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,971	7,093	△877	△11.0%
	土木製品	6,251	5,553	△697	△11.2%
	構造機材製品	19,506	18,342	△1,164	△6.0%
	建材商品	17,140	16,720	△419	△2.4%
建設関連製品事業		50,869	47,711	△3,158	△6.2%
自動車関連製品事業		10,205	8,975	△1,229	△12.1%
ホテル事業		6,108	5,204	△904	△14.8%
その他の事業		1,802	1,299	△502	△27.9%
合計		68,985	63,190	△5,795	△8.4%

# セグメント別営業利益【前期比】

(単位：百万円)

	2015 実績	2016 実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,484	3,940	△544	△12.1%
自動車関連製品事業	1,216	1,021	△194	△16.0%
ホテル事業	340	501	161	47.6%
その他の事業	286	63	△223	△77.8%
合計	6,327	5,527	△800	△12.6%

# 連結財務狀況 【前期比】

(単位：百万円)

	2015 期末	2016 期末	増減額
<b>資 産</b>	<b>83,786</b>	<b>81,919</b>	△1,867
( 現 預 金 )	15,195	22,694	7,498
( 棚 卸 資 産 )	7,548	7,010	△538
( 有 形 固 定 資 産 )	28,837	16,951	△11,885
<b>負 債</b>	<b>35,185</b>	<b>30,514</b>	△4,670
( 有 利 子 負 債 )	12,558	9,791	△2,766
<b>純 資 産</b>	<b>48,601</b>	<b>51,404</b>	2,803
※自己資本比率	58.0%	62.8%	

# セグメントの変更について（2017年度より変更）

## 変更前

製品別	仮設・型枠製品
	土木製品
	構造機材製品
	建材商品

建材商品において  
海外売上比率が向上したため、  
国内と海外に区分しました。



建設関連製品事業

自動車関連製品事業

その他の事業

合計

## 変更後

製品別	仮設・型枠製品
	土木製品
	構造機材製品
	建材商品
	建材商品（海外）

建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

合計

名称を変更しました。



# 2017年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2016 実績	2017 予想	増減額	増減率
売上高	63,190	62,000	△1,190	△1.9%
営業利益	5,527	5,700	172	3.1%
(営業利益率)	8.7%	9.2%	—	—
経常利益	5,780	5,800	19	0.3%
当期純利益	7,861	3,640	△4,221	△53.7%

# 2017年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)

		2016 実績	2017 予想	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,093	7,600	506	7.1%
	土木製品	5,553	5,850	296	5.3%
	構造機材製品	18,342	20,500	2,157	11.8%
	建材商品	12,224	12,950	725	5.9%
	建材商品（海外）	4,496	4,500	3	0.8%
建設関連製品事業		47,711	51,400	3,688	7.7%
自動車関連製品事業		8,975	9,000	24	0.3%
ホテル事業		5,204	—	—	—
多角化事業		1,299	1,600	300	23.1%
合計		63,190	62,000	△1,190	△1.9%

# 2017年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)	2016 実績	2017 予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	3,940	4,450	509	12.9%
自動車関連製品事業	1,021	1,080	58	5.7%
ホテル事業	501	—	—	—
多角化事業	63	170	106	166.8%
合計	5,527	5,700	172	3.1%

# 資産収益性について

- ・財務の健全性を維持しつつ、持続的な向上を図ります

(単位：百万円)	2014	2015	2016	2017 (予想)
経常利益	7,262	6,539	5,780	5,800
総資産	81,097	83,940	82,853	84,567
R O A	9.0%	7.8%	7.0%	6.9%
当期純利益	4,433	4,234	7,861	3,640
純資産	44,866	47,877	50,003	51,717
R O E	9.9%	8.8%	15.7%	7.0%

※貸借対照表上の数字は期中平均を使用しております。

# 為替による影響

※期中平均レートを使用しております。

	2016 実績	2017 予想
米ドル	110.9円	100円

約15億円の減収効果  
約1.8億円の減益効果